



研修報告書

令和2年7月27日

小牧市議会議長 様

会派名 明正クラブ
代表者氏名 河内伸一

研修の結果を報告します。

記

1. 日程

令和2年7月9日(木)、10日(金)

2. 研修名

自治体財政特別講座

決算状況「歳出」

決算状況「財政収支」

決算状況「財政指標」

3. 参加議員

大上利幸

4. 主催者

地方議員研究会

5. 会場

新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区東中島1-18-22)

6. 研修の目的

9月の決算審査へ向けて自治体財政の仕組みを理解する為

7. 講師

森裕之氏 立命館大学政策科学部教授、博士（政策科学）

略歴

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授をへて、2003年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害（アスベスト問題など）についても公共政策論としての立場から考察。

著書共著

『公共事業改革論』『検証・地域主権改革と地方財政』『地域共創と政策科学』『市民と議員のための自治体財政』

8. 主な内容

はじめに「コロナと自治体財政」についての講義があった。

令和2年度補正予算（第1号）の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1兆円、令和2年度補正予算（第2号）の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充2兆円の詳細な解説があった。

すべての講座で、小牧市の決算カードを資料として活用し、決算状況「歳出」では、目的別歳出と性質別歳出の違い、歳出のうち自治体のお金とその他のお金、繰出金と補助費等を見るポイント、積立金と公債費について説明があった。

決算状況「財政収支」では、自治体の黒字と赤字、実質収支と実質単年度収支の違い、近年の自治体財政の赤字問題、全国自治体のすべては黒字であるが本当は半分以上が赤字のワケについての解説があった。

決算状況「財務指標」では、自分のまちの財政力の確認、自分のまちは持続可能な状態か、健全化判断比率ではわからない自治体財政の本当のすがたについてわかりやすく解説があった。

9. 感想と取組

自治体財政の仕組みを「家計」や「企業」と比較しながら解説して頂いたことにより、わかりにくかった自治体財政の根幹を理解出来た。この理解した基本知識を活用して、9月の決算審査の重点項目である「歳入歳出予算額と決算額との比較」と「成果の検証」に取り組みたい。